

近畿ブロック会議（令和元年7月5日・京都府：グランヴィア京都）

参加者は約180名。開催府県の京都府を代表して、田中誠二京都府会長が開会の辞を述べ、また近畿ブロック協議会会長として清水尚道大阪府理事長があいさつ、その後、福田益和全専各連会長が赤池まさあき参議院議員への支援を要請するとともに高大接続の議論にともなう専門学校の入試のあり方の検討、高等教育の負担軽減への対応などに触れつつあいさつを述べた。次いで、来賓を代表して京都府知事の祝辞（代読）が披露された。

文部科学省専修学校教育振興室の廣野宏正室長から祝辞並びに行政報告として、今年度の専修学校関係予算、職業実践専門課程の認定状況、リカレント教育への対応、高等教育の負担軽減、留学生の在籍管理の徹底、私立学校法の一部改正に伴うガバナンスの強化などについて説明があった。続いて、全専各連の活動報告があり、今年度の全専各連の運動方針、会則の一部改正、専門職大学制度創設の意義と専門学校の振興方策、留学生や社会人の学び直しへの対応、さらにはTCE財団・キャリア共済協同組合が行う各種事業への積極的参画についての要請を行った。

休憩をはさんで議案協議となり、重里徳太大阪府副理事長より「高大接続改革に対する専門学校の対応について」をテーマに概要が説明され、あわせて清水近畿ブロック会長・大阪府理事長から以下の大会決議が提案され、異議なく拍手で承認された。

最後に、次回開催府県として奈良県の大原敏敬会長があいさつ、閉会の辞を小林靖弘副会長が述べ、その後懇親会となり全日程を終了した。

[高大接続改革に対する専門学校の対応について]

大会決議

1. 従来から多面的、総合的評価を行ってきた専門学校の入試を明確化するために、入試区分の統一化を行う
2. 願書受付始期および入試実施時期の統一について、継続して検討する
3. 専門学校教育の理解を促進するために、学生募集方針、教育目標、到達目標を、公表していくことを奨励する